

保全指導・支援の実例紹介

●屋上の点検

屋上には、日頃なかなか登らないため、点検を怠りがちです。図3は、TV用アンテナ・ケーブルを増設する際に、屋上手すりの支柱にテープで巻かれており、落下の恐れがあった事例です。アンテナ用の独立した基礎を設置するようアドバイスしました。

また、手すりの支柱下部が腐食しており、腐食部分から建物内部への漏水の恐れあったので、早急な修繕を勧めました。



図3 屋上TVアンテナ

●中央空調方式の使い方の改善

空調機に接続されたダクトの風量調整ダンパの調整がうまく行われていない場合があります。風量調整ダンパは手動で開閉調整できますが、全体的にばらつきがある場合には専門業者に委託することをすすめています。

また、天井面、壁面に設置された吹出口で調整可能なものは、閉鎖又は絞られていることもあるので、冷暖房の切替時に確認が必要です（図4、図5、図6）。



図4 天井吹出口



図5
壁面・天井面吹出口



図6 線状吹出口

●空気環境の確認

空気環境測定器を用いて温湿度、二酸化炭素濃度、風速などを測定し、空調機の使い方に問題がないかを確認しています（図7）。



図7 測定機器

●現地での勉強会

施設管理者の要望に応じて、法定点検の概要や方法などの勉強会を実施してます（図8）。



図8 勉強会の様子